



83. 玉穂村役場跡

現地の状況：大橋付近は明治 22 年に開設された旧玉穂村役場跡を左に見て一路富士山に向かい上っていく。目の前の水田辺りは旧玉穂村役場の跡です。かつて大橋周辺は宿があった様子、今は見られない。

記載事項等：明治 21 年（1888） 玉穂村名決定
明治 22 年（1889） 玉穂村発足
役場位置－畑村四人畑
明治 29 年（1896） 村議会で村役場を玉穂小学校敷地内と定めた建築議案議決

GPS : N35°19'15.1 E138°54'42



84. 八王子神社旧跡

現地の状況：八王子神社の旧跡で、宮田として残され現在も水田が広がる一帯。富士山の姿や水田風景のビューポイント。

記載事項等：創立創建 八王子宮（不詳）
明暦 4 年（1655） 中畑愛郷会付近に移転

GPS : N35°19'11.5 E138°54'38.4



85. 仁杉からの富士山

GPS : N35°19'11.5 E138°54'38.4

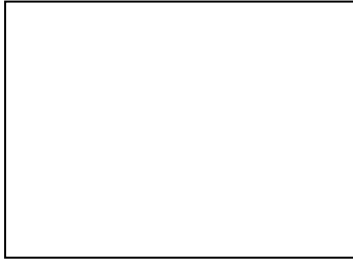


89. 龍宝寺

現地の状況：国道 138 号ぐみ沢上交差点下の上り勾配の県道沿いに龍宝寺がある。お寺の左側を通るジャリ道は鎌倉往還、寺の後には富士の山容が広がり一望できる。

記載事項等：開基開山 不明
宗 派 浄土宗

GPS : N35°19'3.9 E138°54'55.5



90. 巡拝塔、庚申塔

現地の状況：左手のジャリ道と境内地沿いに西国供養塔、
また入口右手側には庚申塔が祀られている。

記載事項等：左手 西国供養塔（山状角柱）
建立年 文化4年（1807）
大きさ 105×31×21cm
銘文 西国供養塔

右手：庚申塔（下部三猿）〔笠付角柱〕
建立年：延享3年（1746）
大きさ：170×57×50cm

GPS：N35°19'3.9 E138°54'55.5



91. 大乘寺・境内

現地の状況：国道沿い右側に小高い丘に、杉の古木が茂る
浄土宗鎮西派「大乘寺」がある。遠州流庭園
が境内に配置されている。

記載事項等：開基開山 文明元年（1469）
本尊阿弥陀如来像、十一面観世音立像、
ビンヅル尊者座像

GPS：N35°19'28.3 E138°54'32.2



92. 道祖神・道標

現地の状況：庚申塔跡から東へ通じる脇道沿いに道祖神
道標の塔が祀られている。

記載事項等：立年 寛政7年（1795）
大きさ 20×30×64cm
銘文 右 いんのミち
左 ぬま川ミち
塔下段 ○勝俣圓藏

GPS：N35°19'13.6 E138°54'23.4



93. 八王子神社・天神社

現地の状況：八王子は八丁池の旧地名。現社殿は大正2
年に建築され平成4年に社殿を改築。境内
は300年以上と推定される杉・桧・樺・檜
の大樹、社殿前には土俵が設けられるほか、
天神社や猿田彦の石碑が祀られている。

記載事項等：創立創建 八王子宮（不詳）

GPS：N35°19'16.8 E138°54'17.7



94. 不詳（祠）

現地の状況：善龍寺への脇道に祠が祀られている。

GPS：N35°19'16.2 E138°54'16.1



95. 道祖神（双神）

現地の状況： 同じ善龍寺への道沿い東側の木立にケンチ石の組台の上に一段の平石台に双神像道祖神が祀られている。

記載事項等： 建立年 不明

GPS : N35°19'19.9 E138°54'6.2



96. 善龍寺

現地の状況： 八王子神社、中畑愛郷会施設へ向かい暫く上がって行くと善龍寺に至る。開基当時は5kmほど富士山寄りの八つ沢に在ったという。

記載事項等： 開基開山 不明 宗派 浄土宗
御殿場市指定文化財『善龍寺の喚鐘』
(江戸時代に富士山頂に提げられていたもの)、道標、如意輪観音塔、筆子塚(柳々軒巴丘)、阿弥陀如来座像石仏など

GPS : N35°19'21.9 E138°54'5.2



97. 馬頭観音

現地の状況： 仁杉交差点に向かうと左側道沿いにややズングリとした自然石型の観音塔。しめ縄が巻かれ祀られている。

記載事項等： 建立年 不明
大きさ 23×50×76cm
銘文 馬頭観世音菩薩

GPS : N35°19'11.5 E138°54'28.2



98. 国道 469 号との仁杉交差点北側

現地の状況： 469号を渡って進んだ先、すぐに見える横道を左に折れて庚申堂へ進む。

GPS : N35°19'12.8 E138°54'26.1



99. 庚申堂跡

現地の状況： 102 庚申堂は、98 の付近にあったが、道路の拡幅に伴い現在地へ移転したという。

記載事項等： お堂は道路拡幅時に萱葺きからトタン葺に葺替えたが柱や羽目板などは当時のままに移転したとのこと

GPS : N35°19'12.3 E138°54'24



100.不詳（塔）

現地の状況：庚申堂へ向かう道筋に入ると直ぐに堀沿いにしめ縄を巻き祀られている。像・文字は見えない

記載事項等：馬頭観音塔か

GPS : N35°19'10.9 E138°54'23.6



101.不詳（塔）

現地の状況：道沿いに自然石型の塔にゴボウ型の飾りを巻き祀られている

記載事項等：馬頭観音塔か

GPS : N35°19'9.7 E138°54'23.2



102.庚申堂

現地の状況：469号交差点から直ぐの地内道路をしばらく歩くと6叉路の交差点前に庚申堂の建物が見える。堂には2塔の碑を祀り、人形などが供養されている。

GPS : N35°19'7.2 E138°54'21



103.庚申塔（102内）

現地の状況：左側は加工石台に笠付角柱に庚申と三猿が彫られた塔が存置されている。

記載事項等：建立年 享保12年（1727）

大きさ 120×50×45cm

銘文 [右] 奉修庚申供養諸願成就 敬白
天下和順 明清明

[左] 享保12年羊九月九日
同行十七人（氏名六人分）

GPS : N35°19'7.2 E138°54'21



104.庚申塔（102内）

現地の状況：加工石台に笠付型角柱の『庚申待供養』と三猿が彫られた塔が存置されている

記載事項等：建立年 元禄12年（1699）

大きさ 120×50×50cm

銘文 常法普覚諸
光明普照●●佛
庚申待供養
王○白

GPS : N35°19'7.2 E138°54'21



105.馬頭観音

現地の状況：お堂の脇に3基の馬頭観世音、左側は楡型、中央は板碑型、右側は頭部が一部欠損した自然石型が祀られている

記載事項等： 左側 建立年：文化11年（1814）
 大きさ：14×24×54cm
 銘文：馬頭観世音菩薩
 中央 建立年：文政5年（1822）
 大きさ：10×30×62cm
 銘文：馬頭観世音菩薩
 右側 建立年：明治33年（1900）
 大きさ：10×28×38cm
 銘文：馬頭観世音

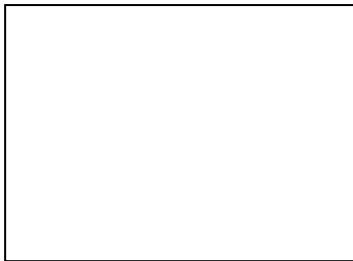
GPS : N35°19'7.2 E138°54'21.1



106.庚申堂から古屋敷へ

現地の状況：ここは6辻の変則交差点、登山道は北へ向かう右側の道筋から古屋敷に向かって上って行く

GPS : N35°19'7.2 E138°54'21.1



107.馬頭観音

現地の状況：下の家の納屋西端と水田の間に祀られている
記載事項等：建立年：昭和5年（1930）
 銘文：馬頭観世音菩薩

GPS : N35°19'8.5 E138°54'13.6



109.古屋敷

現地の状況：ここに来ると今も萱葺屋根の民家が見られる。
記載事項等：当時あった水ごりの場所はない

GPS : N35°19'6.1 E138°54'10.9



110.不動明王

現地の状況：道者の身を清める水ごりの場に祀られていたもの。当時の場所からは移動されている。

GPS : N35°19'7.9 E138°54'11.1



111.古屋敷辺りからの富士の姿

現地の状況：奥に杉林が控えここからは芝生や茶畑越しに富士山の姿も一段と大きく見えるビューポイントの一つ

GPS : N35°19'5.4 E138°54'6.4



112.廻国塔

現地の状況：明治の初め頃、富士登山に来た夫婦を葬った供養碑。

記載事項等：橋手前の三つ路脇、団地入口の左側は小高い処に祀られている

建立年：享保 14 年（1729）

大きさ：50×65×110cm

銘文：奉六十六部供養塔

GPS : N35°19'6.3 E138°54'1.7



113.馬頭観音

現地の状況：玉穂第四団地西側の橋の袂の平石台に自然石型の石塔が祀られている。

記載事項等：建立年：不明

銘文：馬頭観世音

GPS : N35°19'5.4 E138°54'0.7



114.浅間神社（中畑南）

現地の状況：県道富士公園線の中畑交差点を左折すると中畑南バス停前に神社がある。道者が安全を祈願して登山したという。

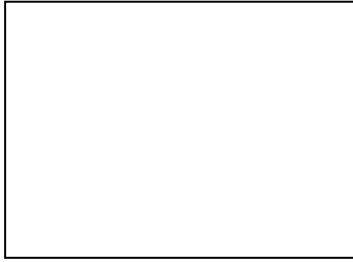
記載事項等：建立年：不明

銘文：奉遷宮浅間大神

鳥居：平成 14 年 8 月吉日（修復？）

石塀：平成 25 年 7 月吉日（修復？）

GPS : N35°18'49 E138°53'39.4



115. 庚申供養塔・道標

現地の状況：富士公園線中畑交差点を左折すると直ぐの四叉路脇に楡型庚申供養と道標の塔が祀られている。

記載事項等： 建立年：寛政 8 年（1796）

大きさ：19×31×71cm

銘文：庚申供養塔

右よし原道

左ぬま津道

GPS : N35°18'50 E138°53'41.7



116. 道標・道祖神 他

現地の状況：橋を渡り三叉路脇に左から富士山型の自然石の道標、道祖神の道標、文政 5 年の道祖神、馬頭観世音の塔など四つの石塔が据えてある。

記載事項等： 左端の塔：富士山型自然石の道標

左 2 番目：光背型道祖神に道標

右 2 番目：光背型道祖神

右端の塔：上部欠損した馬頭観世音

GPS : N35°19'4.8 E138°53'42.7



117. 道標

現地の状況：富士山型自然石道標

記載事項等： 右ハふじ

左ハよし原

GPS : N35°19'4.8 E138°53'42.7



118. 道祖神・道標

現地の状況：光背型道祖神に道標

記載事項等： 右やまみち

中央に道祖神

左いんのみち

GPS : N35°19'4.8 E138°53'42.7



119.道祖神塔

現地の状況：光背型道祖神

記載事項等：右前：文政五年

中央に道祖神

左前：午五月日

GPS : N35°19'4.8 E138°53'42.7



120.馬頭観世音塔

現地の状況：上部欠損した馬頭観世音

記載事項等：左前：六月廿五日 勝又〇三〇

GPS : N35°19'4.8 E138°53'42.7



121.杉林と水田、奥に富士の姿

現地の状況：杉林や水田風景、乗馬クラブなど富士山との構図は格別のビューポイント

GPS : N35°19'5.6 E138°53'51.9



122.ジャリ道の林道

現地の状況：杉林の中は静寂した心地よい空間を自身の足音と野鳥の鳴き声もやや大きく聞こえる。道沿いにはクジャクシダ、ヤマアジサイも見られ一時涼しい空間となる

記載事項等：木立

GPS : N35°19'5.6 E138°53'51.9



123.クジャクシダ

現地の状況：開設 100 年史には「両わきにある木立ちの根元にはクジャクシダが生い繁って・・・」と記述がある。当時のままに今も残っている

GPS : N35°19'6.3 E138°53'29.6



124.林道出口

現地の状況：涼しい木立の道を抜け甲羅伏に向かう途中で振り返ると、一瞬異空間の様相に思える

GPS : N35°18'58.3 E138°53'21.5



125.甲羅伏

現地の状況：記述には「県道の手前に石を伏せた坂道にでる。甲羅伏と今も呼んでいる。」と、たぶんこの辺りだろう。ここもビューポイント

GPS : N35°18'58.3 E138°53'21.5



126.県道富士公園線横断

現地の状況：ここからの富士の姿はますます大きく眼前に見えてくる。県道を斜に横断して登山道を上る

GPS : N35°19'7.5 E138°53'17.2



127.道祖神

現地の状況：中畑南の浅間神社を昇ってくると5叉路の交差点脇にコンクリ台に富士山型自然石道祖神がある

記載事項等：建立年：不明
大きさ：20×52×60cm
銘文：道祖神

GPS : N35°19'7.5 E138°53'17.2
